

子どもたちの生きる力の育成をめざした家庭・学校・地域の連携

山口市立阿知須小学校 PTA

1 学校地域の概要

P T A 会 長 ; 岡村陽司

学 校 長 ; 大木訓子

児 童 数 ; 4 3 6 人

家 庭 数 ; 3 3 0 世帯

教 職 員 数 ; 3 1 人

所 在 地 ; 〒754-1277 山口市阿知須4251番地

T E L 0836-65-2014 F A X 0836-65-5273

U R L ; <http://www.c-able.ne.jp/~ajisu-es/>

E-mail ; ajisu-e@yamaguchi-ygc.ed.jp

(1) 地域の特色

校区の山口市阿知須地区は、山口市の最南端に位置し、東は瀬戸内海に面し、南西部は宇部市に隣接している。校区内には、広大な阿知須干拓もあり、海水浴場・温泉・万年池・ゴルフ場など観光用地としての名声を上げている。人家は、山口・小郡・宇部を結ぶ国道を中心に密集し、商業小都市の観を呈している。「きらら浜」には、「県立自然公園」や「山口きらら博記念公園」などの施設があり、人と自然がきらめく豊かな交流の町として発展しつつある。

地域の人々は、人情に厚く親しみやすく、明朗で、人の世話をよくし、子どものことに熱心で教育に対し関心が深い。

保護者の職業を見ると「十七夜祭」、「潮干がり」のイメージから、漁業関係者が多いように思われがちであるが、現在は、漁業、農業等第1次産業に従事する保護者は少ない。かわって近郷の工業に勤める第2次産業、商業、自営業あるいは公務員等々第3次産業がそれぞれ半数を占める。

(2) 学校の特色

阿知須小学校は、阿知須地区の中心に位置し、総合支所や交流センター、図書館、病院等、関係機関や施設が集合し教育環境も充実している。また、阿知須地区には、中学校1校、小学校2校があり、各P T Aは相互に連携を図りながら活動や行事を計画し、積極的な交流を進めている。学校教育に対する保護者や地域の関心も高く、参観日や講演会、また、運動会や音楽会といった行事には多くの参観者が訪れ「開かれた学校」が推進されている。さらに、教育後援会やボランティアの活動等、地域全体が児童を見守り、安心・安全な生活ができるような環境が整っている。

(3) 学校の教育目標

校 訓 ; 英知 友愛 克己

学校教育目標 ; 一人ひとりのよさや可能性を広げ、知恵と豊かな人間性を育む教育の推進

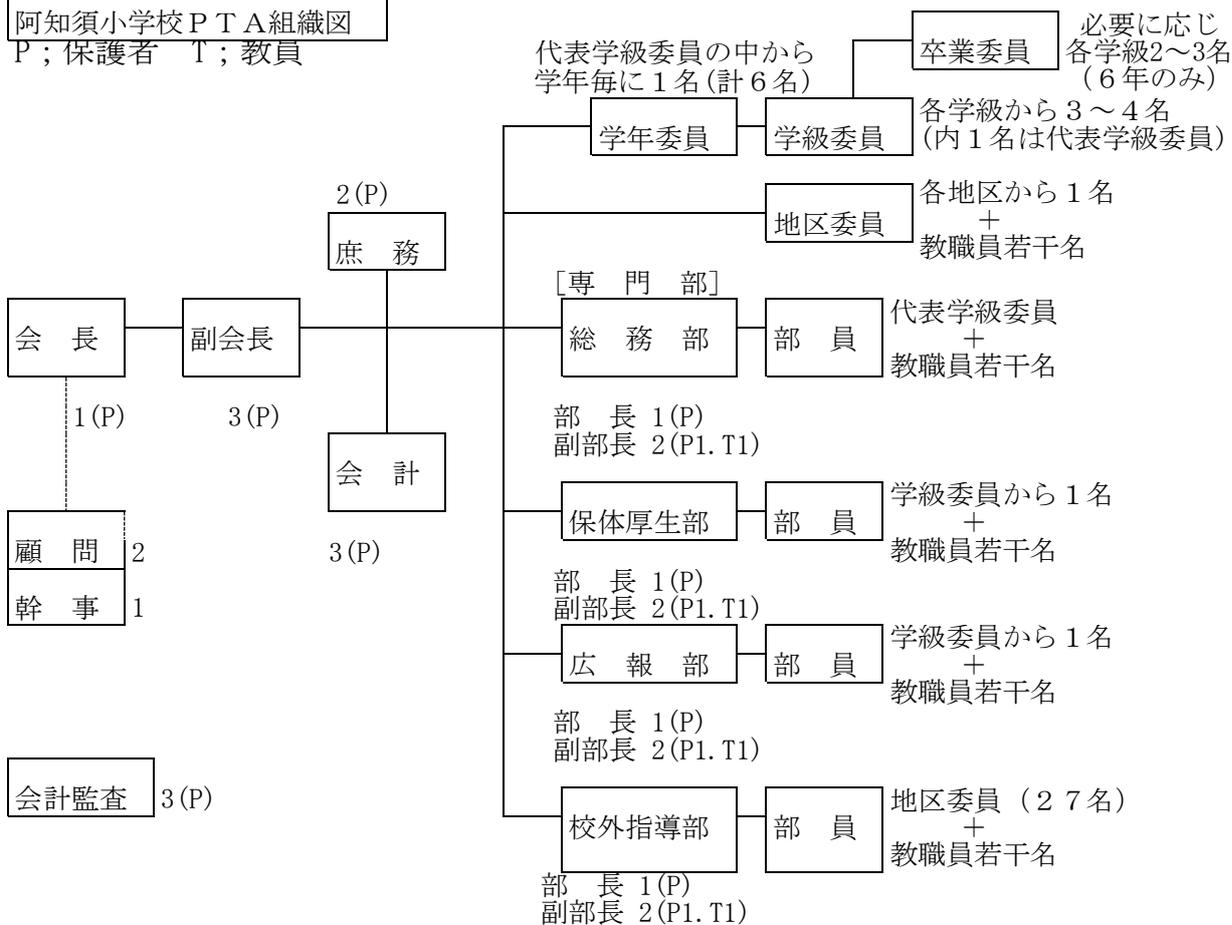
めざす学校像 ; よさが輝く学校

・美しい学校 ・温かい学校 ・元気な学校

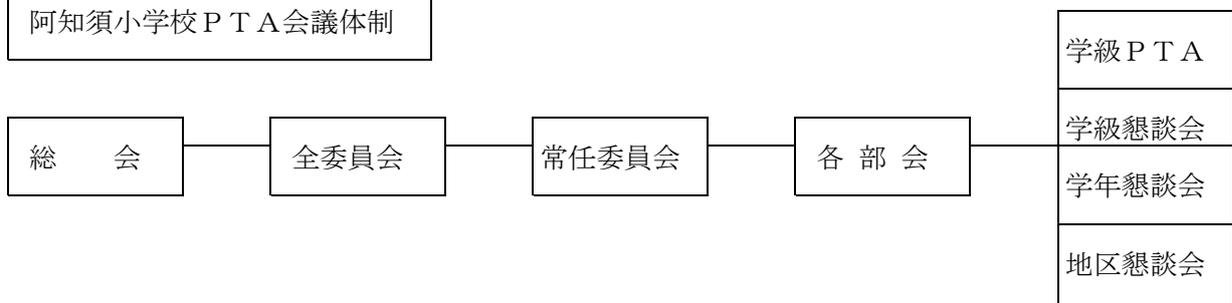
めざす児童像 ; かしこく なかよく げんきよく

2 PTA の組織図

阿知須小学校PTA組織図
P；保護者 T；教員



阿知須小学校PTA会議体制



会議体の名称	内 容 ・ 権 能 等
総 会	会員全員をもって構成し、事業報告・計画の承認、予算・決算の承認、役員 の承認、規約の改正及びその他重要事項を決定する、この会の最高議決機 関である。 (定期総会と臨時総会がある。)
全委員会	会長、副会長、庶務、会計、会計監査、学級委員、地区委員、教職員、専 門部の部長・副部長をもって構成し、総会に付議すべき事項、総会が議決し た事項の細目、役員の選出、細則の改廃、その他総会の議決を要しない事項 を決定する機関である。
常任委員会	会長、副会長、庶務、会計、学年委員、専門部の部長・副部長をもって構 成し、全委員会に付議すべき事項の検討、総会・全委員会が議決した事項を 執行するための具体的な事項の検討等を行い、この会の活動を推進するた めの執行機関である。
部 会	総務部、保体厚生部、広報部、校外指導部がそれぞれ担当する業務を円滑 に実施するためにその具体策を立案・審議し、これを実行するためのもの である。 (必要に応じ、他部との合同部会を開催することがある。)

3 研究主題について

近年、子どもたちを取り巻く環境が大きく変わってきている。価値観の多様化やグローバル化、また、情報の氾濫、少子高齢化など、子どもを育てるうえで様々な問題となって学校教育や家庭教育に影響を及ぼしてきている。このような状況において、自ら学び、自ら考えることができる子どもを育てていかなければならない。そこで、学校・家庭・地域が一体となって、子ども一人ひとりを見守り、「生きる力」の育成を推進することがPTAにも求められる。

学校活動に支援をし、地域の行事にも積極的に関わりをもち、相互連携の強化を図ることが、21世紀に生きる子どもを育むことにつながると考える。

4 活動内容

(1) 実践例

I 執行部（三役会議）

(ア) 年間計画

学校と協議のうえ、PTA活動の計画を立案し、常任委員会、全委員会を経て総会で承認を得る。平成24年度の年間計画を下記のとおり掲載する。

	会長・副会長・庶務	総務部	保健衛生部	校外指導部	広報部
4	27 全委員会	11 学級委員投票準備 18 学級委員開票 27 部会（スケジュールの確認）	27 部会（スケジュールの確認）	27 部会（スケジュールの確認）	27 部会（スケジュールの確認）
5	15 阿小PTA総会 山口市PTA定例委員会（一学期） 一人一投票内 27 全国植樹祭	15 学級懇談会 部会		5月下旬～6月上旬 地区懇談会開催 (各地区にて)	部会 (活動方針・夏号掲載内容の検討) 広報編作り研修会 写真撮影 写真撮影
6	第1回常任委員会・懇親会 執行部会	学級PTA活動（1～6年）	23 父母スポーツ大会	部会	
7	執行部会 阿知須地域三校連絡協議会① 18 名札販売 19 名札販売	部会	第1回学校保健委員会 ベルマーク収集 阿知須三校ソフトボール	救急蘇生法 部会 プール当番表の作成→配布 第1回資源回収資料印刷→配布 阿知須地域三校連絡協議会① 広報誌『ひろば』配布～広報部より	部会(編集作業)
8			18 環境整備作業		
9	第2回常任委員会 執行部会	部会	部会 23 運動会 ペットボトルキャップ回収	8 資源回収（第1回） 資源運搬後の清掃 運動会プログラムの配布 部会 資源回収反省、その他	部会（冬号掲載内容の検討） 写真撮影
10	13 あじす小まつり 山口市PTA定例委員会（二学期）	13 あじす小まつり	部会		写真撮影
11		部会	3 市P連 ソフトボール大会 第2回学校保健委員会		写真撮影
12	執行部会 19 名札販売 20 名札販売		7 校内持久走大会 交通整理・立断 9 AJISU駅伝	部会 第2回資源回収資料印刷→配布 広報誌『ひろば』配布～広報部より	部会(編集作業) 写真撮影 写真販売
1	第3回常任委員会 執行部会	講演会			部会(早春号掲載内容の検討) 広報コンクール審査 広報コンクール表彰式
2	山口市PTA定例委員会（三学期）	5 学級懇談会	14 第3回学校保健委員会 ベルマーク収集	9 資源回収（第2回） 資源運搬後の清掃 部会 資源回収反省、その他	
3	阿知須地域三校連絡協議会② 21 名札販売 22 名札販売	部会	部会 ペットボトルキャップ回収	阿知須地域三校連絡協議会② 広報誌『ひろば』配布～広報部より ※ 年間共通 おはよう運動当番表の 作成・配布 26 見守り隊	部会(編集作業) 写真撮影

(イ) 一人一役

本PTAでは、すべての会員がPTA活動に関わりをもつという観点から、一人一役という制度を設け、以下の表に示されているような活動に協力員として参加するものである。

全家庭に依頼文を配布し、第3希望までのアンケートをもとに調整し決定する。そのお世話は、すべて執行部役員で行う。

番号	行事月日	協力内容	募集人数
1	6月29日(金)	1学期学校保健委員会の参加	10
2	1学期	児童の名札製作(7月上旬予定)	8
3	1学期	児童の名札販売(7/18・7/19)～懇談会に予定～	12
4	7月10日(火)	校内花壇等の草取り	10
5	7月27日(金)	第二回学校保健委員会の参加	10
6	7月下旬	給食エプロンの補修、各日5名(7/23・7/24・7/25の午前中)	15
7	8月5日(日)	三校ソフトボール大会に参加	20
8	7月30日	図書整備(午前中予定)	5
9	夏休みの期間	学校に必要な各種袋や雑巾等の製作～あじす小まつりにて販売～	20
10	8月18日(土)	環境整備作業の軽トラ貸し出し、トラック運転手	5
11	8月18日(土)	環境整備作業時の換気扇、扇風機等の掃除	20
12	9月8日(土)	第1回資源回収時のトラック(軽OK)貸し出しや運転	8
13	9月頃	ベルマークの仕分け・集計～*保体部員は除く～	15
14	9～10月頃	あじす小まつり事前準備のお手伝い	15
15	10月13日(土)	あじす小まつりのお手伝い(*学級委員は除く)	20
16	11月1日(木)	体育館、キャットウォークの掃除	10
17	12月9日(日)	AJISU駅伝の参加(選手として)	15
18	2学期	児童の名札販売(12/19・12/20)～懇談会に予定～	6
19	2月9日(土)	第2回資源回収時のトラック(軽OK)貸し出しや運転	8
20	2月14日(木)	3学期学校保健委員会の参加	10
21	2月22日(金)	校舎ワックスがけ	20
22	2月頃	ベルマークの仕分け・集計～*保体部員は除く～	15
23	3月11日(月)	体育館、キャットウォークの掃除	10
24	3学期	児童の名札販売(3/22・3/25)～昼休みに予定～	4

(ウ) 各会議の計画・運営

総会・全委員会・常任委員会の計画・運営を行う。なお、各部会の計画や運営は、それぞれの部で行うが、必ず執行部役員が同席し、指導や助言を行う。

II 総務部

(ア) 学級PTA活動

新年度が始まった時点で、各学級・学年の保護者・児童・教職員が親睦深めると共に相互理解を図るために行う活動である。それぞれの学年でアンケートをとり、学級委員と担任が話し合い内容や期日を決定する。活動費はPTAが負担し講師を招いて授業と連携した活動をしたり、学校外の施設等を利用した体験活動をしたり、スポーツで体力作りを図ったり、趣向を凝らした内容である。以下に、過去の活動を列記する。

◎過去の活動内容

1年	学校探検ウォークラリー	校内
	レクレーション	体育館
	レクレーションとしゃぼん玉遊び	きらら交流公園
	講師によるレクレーション	きらら交流公園
	マジックショー観賞	体育館
	ミニドッチボールとサンドイッチ	体育館と調理室
2年	クラス対抗どっちボール	体育館
	ミニスポーツ大会&ミニ運動会	体育館
	講師によるレクレーション	体育館
	交通安全教室	山口県総合交通センター
3年	サンドイッチ作りと懇親会	教室と体育館
	ソフトバレー	体育館
	プラキーホルダー作り	教室
	バードウォッチングと野鳥ビンゴ	自然観察公園
	(案) こども110番ウォークラリー	旧町内
4年	フリスビー式ドッチ、綱引き	体育館
	講師によるレクレーション	体育館
	地域の講師によるひなもんづくり	教室
	家電企業の講師による乾電池づくり	音楽室
5年	はぜ釣り大会	きらら防波堤
	パン作り、焼きそば作り	調理室
6年	博物館出前授業による勾玉づくり	図工室

(イ) あじす小まつり

PTA活動の中でも最も大きな活動である。10月の土曜参観日の午後、体育館 玄関広場・駐車場・運動場を会場に、各学年・執行部、また、PTAOBそれぞれ

ブースを設け、飲食や遊休品、ゲームといった内容の出店をする。保護者児童、及び地域の方々がこれに参加し、P T A活動の理解と地域連携を図る活動である。

総務部は、各学級委員で構成されており、数回の会議を通して学年間の連絡調整をしながら準備や内容について協議し実施にいたる。それぞれの学年は、過去の出し物を参考にしながら商品や食材、調理器具、ゲームの方法など多岐にわたる準備を計画的に行う。また、執行部は、各家庭に呼びかけ遊休品や手作り品（布製袋・ナフキン・雑巾）の提供を求め、集まった品物を販売している。また、本年度は、焼き鳥も出店し好評であった。

(ウ) 講演会（P T A・学校共催による活動）

本年度は、6月の参観日に家庭教育学級を実施し、「やまぐち食育クラブ」代表の西本葉子さんを招いて～心と体を育む食育～と題して講演をしていただいた。たくさんの資料によるプレゼンでとても分かり易く、また、ご本人の貴重な経験を通しての内容で充実した時間であった。また、終了後も西本さんの回りに人の輪ができて個別の質問などを聴いていただき交流の場にもなった。

1月には、例年開催している人権教育参観日に、外部から講師を招いて講演会を実施している。

本年度は、宮城県より「地球のステージ」代表理事 桑山紀彦さんを招いて公演を開催した。

以下、そのことについて概要を掲載する。

◎地球のステージの概要

①演 目；「地球のステージ」（震災篇）

②講 師；「地球のステージ」代表理事 桑山紀彦さん及びスタッフの皆さん

③参加者；児童・教職員・保護者 地域住民 約400名

④プログラム

①オープニング映像 放浪篇映像	演奏「アメージング・グレース」
②放浪篇 南米篇映像	演奏「地球の詩」（オリジナル曲）
③フィリピン篇	演奏「還ろう」（オリジナル曲）
④ソマリア篇	演奏「風の国の道」（オリジナル曲）
⑤震災篇 エンディングメッセージ映像	演奏「この国へ」（オリジナル曲）

⑤公演内容

公演では世界の映像とともに、そこで暮らす人々について知ることができた。オープニングでは、桑山さんが5大陸のそれぞれの最高峰を見るという目標を立てて、それを実現するとともに、そこで出会った様々な人々の生活を聞いた。南米篇ではマチュピチュ遺跡の神秘について、フィリピン篇ではゴミの埋め立て地で暮らす人々について、ソマリア篇では激しい内線の中、難民キャンプでたくま



しく生きる人々について・・・世界の現状が語られた。

そして、震災篇。私たちが決して忘れてはいけない東日本大震災である。2年前に報道で見た津波の被害やそこから復興しようとしている方々のことを再確認できた。

はじめに、津波で自分たちの街が流されている様子を地元の中学生が勇気をもって撮影した画像が流れた。会場の人たちは、衝撃的な映像を見て、中学生がどんな気持ちで撮影したのかを考えさせられたことであろう。また、震災から目を背けないようにして作ったジオラマ、避難を呼びかけマイクを持ったまま犠牲になられた消防士さん、桑山さん自身が開業されている24時間灯りが消えない診療所の話など、会場の子どもも大人もみんなが映像と語りに釘付けになった。

⑥児童の感想より

- ・ 私にとって今回の「地球のステージ」は、世界や東日本のことを知り、学ぶためにとってもいい機会でした。お話の中に歌が入ったり、笑ったりできるようなところがあったりしてとても楽しくお話を聞けました。（中略）東日本大震災のお話は石碑を建てるというところで泣いてしまいました。ぜひ続篇を見せていただきたいです。
- ・ 「地球のステージ」を聞いて、ボランティアの本当の意味がさらに深まったと思います。



桑山さんは、だれかを助けるためではなく、自分のためにするとおっしゃいました。（中略）東日本大震災では、自分の年齢よりも下の子ども達を見てびっくりしました。大切な人、大切な物をたくさんうばわれたのに笑顔でいました。もし、あの中に私がいたらどうだったんだろうと考えながらお話を聞いていました。（後略）
（6年児童の感想より抜粋）

⑦おわりに

本校では、人権教育参観日に併せて外部講師による講演（公演）を実施してきたが、本年度は縁あって「地球のステージ」桑山紀彦さんを招聘することができた。国内のみならず、世界各地の災害や戦争による被災難民のために医師としてボランティア活動をしておられる桑山さんが、映像・歌・語りを交え多様なパフォーマンスにより、グローバルで奥深い内容の公演をされ、児童をはじめ多くの参加者の心に響くものであった。特に、東日本大震災での活動は、記憶に新しいことでもあり、生々しい映像と共に復興に向け頑張っておられる桑山さんの姿に、じゅう・びょうどう・いのちに直結する尊い活動であることを実感することができた。本校単独による「地球のステージ」であったが、より多くの方々に聴いていただきたい公演であった。今回は、山口県PTA連合会の研究助成の支援をいただき実現できたが、また機会があれば、再度山口で公演していただきたい素晴らしい内容であった。

Ⅲ 保体厚生部

（ア）環境整備作業

例年8月の登校日に併せて、親子による環境整備作業を実施している。2学期

が始まる前にPTA・学校職員・児童が一緒になって清掃活動することで、親子共々に学校に対する愛着が芽生えると共に、協働・協力の大切さを実感する機会にもなる。また、児童にとって、気持ちの良い2学期のスタートを迎えることができる。こうした活動を通して、更に学校と家庭の絆を強くしたいものである。

保体厚生部は、地域の事業所や工務店から運搬用のトラックや作業用のユンボを借用するなど事前準備を進めなければならない。また、できるだけ多くの保護者が参加するよう呼びかけをしている。特に、多くの男性（父親）に参加してもらおうよう働きかけている。

(イ) 親睦スポーツ大会

例年6月の第3土曜日に、親睦スポーツ大会を開催している。保護者が気軽に参加できるように競技種目はソフトバレーボールとし、学校の職員もこれに加わり学年対抗によるリーグ戦で行っている。相互の親睦と体力づくりを目的に和やかな大会となっている。

(ウ) 秋季大運動会PTA競技

秋季大運動会のプログラムにPTA競技を入れ、種目決定から参加者募集まで保体厚生部が行っている。

種目は、保体厚生部を中心に毎年協議して決定している。また、参加申込書を全家庭に配布して参加者を募っている。

(エ) 学校保健委員会

年間3回実施の学校保健委員会は、学校の保健主任・養護教諭と連携して進めている。第1回は、7月初旬に開催し、年間の保健計画を確認すると共に児童の体力・体位について県・市との比較を通して実態を知る内容となっている。また、児童の健康管理について学校医の指導を受け、学校や家庭で実践している。第2回は、夏季休業中に外部講師を招聘し、児童の体力づくりや運動能力の向上を図るための手だてについて講義や実践を交えた研修を行っている。本年度は、親子参加の保健委員会にした。第3回は、2月に行っている。食育に視点をあてた内容で、学校栄養士の指導のもとに、栄養のバランスを考えた簡単レシピで料理教室を実施している。参加者にとっても好評である。

IV 広報部

(ア) 広報紙「ひろば」の発行

年間3回発行している。取材、写真撮影、原稿依頼・作成、編集など発行まで全ての活動を部員で行っている。完成後は、関係機関・学校及び校区全世帯に配布している。

(イ) 広報誌コンクール

毎年、山口県PTA連合会広報誌コンクールに出品し、活動の評価を得て部員の励みになっている。

V 校外指導部

(ア) 資源回収

資源回収は9月と2月の第1土曜日に実施している。各地区で出された再生品を、割り当てられたPTAの役員がトラックで集めて回り、学校へ一括回収する。学校へは回収業者がきて持ち帰る。校外指導部は、部員（地区委員）がお世話を

し、校区内全世帯に文書を配布する。当日も地区ごとに回収の仕事に携わる。回収日には、学校の教職員も参加し回収の仕事に協力する。

◎各地区回収の一覧表

(イ) 救急蘇生法

保護者対象の救急蘇生法を地区へのプール開放日より先だって実施している。受講生が多いため、修了証が発行される3時間講習を2回実施している。

(ウ) プール当番

地区への開放であるため、地区ごとに当番を決め監視をしている。監視者の心構えを全員に配布して注意を喚起している。

◎監視者としての心構え

1 監視者としての心構え

* 事故はいつでも誰にでも起こりうると前提に監視してもらう

2 監視者の位置

- ① プールの四隅に各1人は必ず配置して下さい。
- ② 視野が全体に行き届いていること。
- ③ 監視者相互で注意の伝達ができること。
- ④ 救助行動に結びつけられること。

3 監視上のポイント（監視は救助体制の一環であり、救助と無関係ではない）

- ① 水面上はもちろんのこと、水底にも視線を向けること。
- ② 低学年は、深いプールには入らないようにしてもらうことはもちろんのこと、水面がきらきらと反射するような所はとくに注意する。
- ③ 安全上のルールを無視する児童には直ちに注意すること。
- ④ 安全上の視点から、一人ひとりの児童に目が行き届くように、遊泳者の人数を把握する。
- ⑤ 監視者の役割分担をしておくこと。（救助、児童管理、通報、救急車誘導）

4 緊急連絡について

- ① 救急車が迅速に到着するために、プールの位置を説明できるようにしておくこと。（山口市立阿知須小学校南門入り口のプール）
- ② 学校の先生にすみやかに連絡する。

5 その他

- ① プールへの入水は、阿知須小学校児童に限る。
（小さい子供さん並びに保護者のプール使用は、安全の事もありますので禁止させていただきます）
- ② プールに来た児童で、途中から具合が悪くなった児童にはすみやかにプールの使用を中止して下さい。

* 本年度も、事故のないようプールの使用を宜しく願います。

(2) 運営の実態

執行部役員を中心に、各部長・副部長が連携のもと活動を進めており、円滑な運営がなされている。また、学校とは協働体制のもと、連絡・調整を図りながら、計画・運営をし、学校行事には積極的に参加している。さらに、充実した教育環境をめざして物心両面から支援しており、学校との信頼関係も築かれている。各会議での話し合いは建設的で、学校からの要望や意見等も積極的に取り入れ、学校とPTAとの間に互恵関係が築かれている。

また、阿知須中学校、井関小学校とも、PTA活動を通して小中連携、小小連携を推進している。

今後さらに連携強化を推進するために、地域全体での相互交流の活性化を図ってきたい。

5 おわりに

阿知須小PTAは、家庭と学校と地域が連携のもとに、子どもたちの健やかな成長を願い「生きる力」を育むことを念頭において活動を行ってきた。学校と協力のもと、地域の祭りに参加したり、安全マップ作成のために働きかけをしたり、講師招聘による研修（講演等）の助成をしたり、色々な場面で支援をしてきた。今後はさらに連携強化を推進し、強い絆のもと家庭・学校・地域が融合できる組織として深化・統合を図っていききたい。そのためには、人的交流を活性化すると共に人材発掘に力を入れ、PTAの組織力の向上と理念の継承に努めていかなければならない。

来年度は、開校140周年の節目の年でもある。地域と共に学校の発展を願い、子どもたちの思い出に残る活動を計画してみたい。

本年度いただきました山口県PTA連合会の研究助成は、本PTA活動の原動力として会員相互の研修の充実、並びに、子どもたちの「生きる力」育む教育の場づくりに大きな成果をあげることができました。

最後に、研究助成の支援をいただきました山口県PTA連合会に心より感謝を申しあげ報告といたします。

